

ジュゴン Vol.66

ちゃんぷるニュース



2013. 1. 29

CONTENTS



- 2 補正評価書と埋め立て申請
- 4/5 12/23 うまんちゅ（御万人）大行進
- // 怒りの神奈川行動
- 6/7 現地から（地域づくりコーディネータ）
- 映画「ひまわり」を観て
- おきなわ便り
- 8 お知らせ

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。

それにしても濟州島でのIUCNに際し、皆さんには大変ご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。韓国大統領選挙結果を見る限り、当分は韓国に入国できそうにありませんが、それはそれで致し方ありません。

それよりも、とても新年を喜んで迎えられない状況が日本にも生まれたのでした。昨年12月の衆議院議員選挙で自民党が圧勝し、安倍政権が誕生してしまいました。このことは、我々ジュゴン保護を目的とするSDCCにとって、大変ショックな社会現象であり政治現象でした。いくら小選挙区制の弊害であるとはいえ、僅かな得票率で自民党を圧勝させてしまうとは。私はその現象を見て、そこまで日本国民（沖縄県民を含めて）が尻軽で浅はかであったと思うと、残念でなりませんでした。

初日の出

もっとも、劇場型選挙を競って煽りたて、面白おかしく報道するテレビ局のリードによって、また世論調査のロジックによって、国民の政治選択肢が絞られ狭められ、まとめられた結果でそうなったわけですが、NHKを含め、マスコミ各社が営利目的の企業である以上は、より日米同盟を強固にする自民党よりの操作に妥協し、傾いた結果だったわけです。

そして日米両政府は辺野古基地推進を明言し、今や沖縄県知事への埋め立て許可申請を何時行うか？という所まで来ているのでした。そこで名護市長選挙と夏の参議院議員選挙を控えている今年こそ、我々SDCCも最後の力を振り絞って、辺野古基地建設阻止に努めたいと思います。私の本もなんとか闘いに間に合うようにしている所です。

元日の朝は7時に家を出て、近くの坂の上から久高島に上る「初日の出」を拝しました。そして仲間の皆さんの健やかなる年でありますよう、祈りました。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



久高島（“神の島”）の上に昇る初日の出（巻頭言）



大山ゲート前に到着した御万人大行進の参加者たち（4面）

情勢

＜居直った防衛省～補正評価書のドタバタ提出＞



普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価の補正評価書が1月29日まで公告縦覧されています。これで、辺野古・大浦湾の埋め立て申請ができる状態になりました。しかし、補正評価書は沖縄県知事が「現行計画では生活環境及び自然環境の保全是不可能」と指摘した問題点（飛行場建設事業の175件、埋め立て事業の404件）は解決されていません。埋め立て土砂の購入先を明らかにせず、海草藻場は保全をするのではなく移植を推進するとしています。しかし、いまだ移植での成功例はありません。沖縄本島で最大の海草藻場がある辺野古海域では、過去にジュゴンの食み跡やウミガメの産卵が多く発見されてきましたが、調査時には発見されませんでした。なぜ調査時に発見されなかったのか、その理由は何ら考察されていません。

公有水面の埋め立ては県の認可事業です。利害関係者との調整や環境アセスメントの評価書が認可の条件になります。すなわち、名護市長や市議会などの同意が必要です。また、沖縄県知事の意見を無視した補正評価書などで事業を進めるなど論外です。沖縄県知事公室長は「（認可するか否かの）最終判断まで、標準的には1年」と県議会で答弁しています。補正評価書の問題点を明らかにして、沖縄県知事に認可しないように働きかけることは重要です。

オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会実行委員会は「オスプレイ配備撤回、普天間基地即時閉鎖・返

還」を求めて、1月27日、28日に、41市町村長、県議、市町村議など100人の上京団が総理直訴行動を行います。2月20日は辺野古・違法アセス訴訟の判決が那覇地裁で出されます。違法な環境アセスメントのやり直しが認められるか否かが焦点です。2014年1月には名護市長選挙があります。仲井真県知事も地元の判断を無視することはできません。名護市民への働きかけも重要です。国際自然保護連合(IUCN)に加盟するNGOなどへの働きかけを含めて、埋め立て反対の国際世論を作り上げたいと思います。



沖縄防衛局が補正し、提出した環境影響評価書を箱から取り出す県職員（琉球新報 2012/12/19）

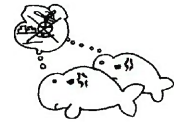
※辺野古埋め立て申請と意見書提出

仲井真知事に
意見書を送ろう！

辺野古新基地建設のための埋め立て申請は、国土交通省が所管する公有水面埋め立て法に基づいて行われます。その許認可権は県知事が持っています。埋め立て申請後、形式審査を経て3週間の公告縦覧が行われます。この時に利害関係人、国民は意見書の提出ができます。地元首長の名護市長にも意見聴取がされますが（4か月間）、市長意見には市議会の議決が必要とされます。並行して、県環境部局との協議が行われます。以上をふまえて、周辺環境基準に照らして許容できるか否か、埋め立て土砂など環境保全への適正な配慮がなされているかで判断されます。すなわち、環境アセスメント補正評価書が評価書についての沖縄県知事意見を無視しているとの声を大きくすることが重要なのです。今年1年間の正念場の闘いです。とりわけ、埋め立て申請後の公告縦覧時に意見書提出を広げることが重要です。

コラム

「総選挙結果と国民世論」



衆議院総選挙では自民党が294席を獲得しました。比例区では、大敗した前回より220万票も少ない得票数でした（表参照）。多数の議席を占めたのは小選挙区に政党が乱立したからです。1票でも多く取った政党が、多数議席を占めることができるのが小選挙区制度だからです。原発も沖縄基地問題も争点にはなりません。各政党が自民党の争点隠しを批判できなかつたからです。原発問題の争点は「何年で原発ゼロにするか」ではなく、「活断層の上にある、再稼働中の大飯原発を止めるのか否か」にすべきでした。大飯原発3、4号機を止めることが、原発ゼロの近道だからです。

らです。沖縄基地問題では、石破自民党幹事長が「最終的に県外移設というゴールにおいて、党本部と沖縄県連と齟齬（そご）はない」（12月4日）と訳のわからないことを言っていました。しかし、総選挙後には、安倍自民党総裁は「辺野古移設に努力する」と本音を語っています（12月21日）。選挙の結果は残念ですが、原発ゼロ、再稼働反対や普天間基地閉鎖、オスプレイ撤去が国民世論です。今年夏には参議院選挙が、来年1月には名護市長選挙もあります。まさに、正念場の1年です。ともに頑張りましょう。（事務局 蛭川義章）



右表：第46回衆議院選挙（2012/12/16 実施）の党派別議席数と比例区得票数

	党派別議席数と比例区得票数				
	議席			比例区得票	09年比例
	選挙区	比例区	計	得票数	区得票数
				千票	千票
自民	237	57	294	16,624	18,810
民主	27	30	57	9,629	29,845
維新	14	40	54	12,262	-
公明	9	22	31	7,116	8,054
みんな	4	14	18	5,246	3,005
未来	2	7	9	3,424	-
共産	0	8	8	3,689	4,944
社民	1	1	2	1,421	3,006
大地	0	1	1	347	433
国民	1	0	1	71	1,220
無所属	5	0	5	-	-
合計	300	180	480	60,180	70,370

コラム 「活断層は地震の巣。大飯原発の稼働を中止せよ！」

原子力規制委員会は日本原電・敦賀原発、東北電力・東通原発が活断層に立地していると判断しました。しかし、現在稼働している関西電力・大飯原発については「地滑りか活断層か」と意見が対立し、1月の評価会合で判断するとしています。電力会社は「到底、受け入れがたい」と企業の儲けを住民の命に優先する見解を公表しています。断層は、地中深くあるプレートが動くことで岩盤に歪みが生じ亀裂ができて上下に割れている状態で、活断層とは、最近の地質時代（過去数十万年以内）に活動し、将来も活動する可能性がある断層です。いわゆる「地震の巣」なのです。田中・規制委員長は「黒か

濃いグレーなら止めてもらう」と国民の前では「殊勝」に語っていますが、薄いグレーでも白（安全）ではありません。「ノーモア・フクシマ」の立場を堅持するなら、白でない限りは再稼働した大飯原発3、4号機を中止すべきです。安倍自民党総裁は「安全な原発の再稼働」を公約に入れて、すべての原発の再稼働を3年以内に判断するとしています。しかし、再稼働には立地、周辺自治体住民の理解が必要です。首相官邸前や各電力会社前行動をはじめ、立地、周辺自治体への再稼働反対の働きかけがますます重要になってきています。

（事務局 蛭川義章）

沖縄

「愛と怒りのサウンドパレード」に3千人



2012年12月23日、3千人以上の参加者を集めて「御万人（うまんちゅ）大行進：愛と怒りのサウンドパレード」が行われました。オスプレイの強行配備、相次ぐ米兵による犯罪や事故、安倍新政権が示す辺野古／大浦湾の新基地建設の強行姿勢。激動の2012年を見つめながら、沖縄の基地問題を必ず解決していこうとする人々の想いが形となった、宜野湾海浜公園―国道58号線―普天間基地大山ゲートまでの2.3キロのパレードです。



海浜公園野外劇場での出発集会は、SDCC 代表の海勢頭豊さんの歌で幕開けしました。そして基地を抱える自治体の議員や国会議員、市民団体の代表、主催者から、基地問題の現状と解決の為の取り組みの報告が続きました。「平和的に」「楽しく」「諦めずに」取り組んでいこうというメッセージが共通してありました。

今回のパレードの特徴は、何と言っても、参加者が多様であったこと、そして音楽や踊りを取り入れながら行われたことです。二人の女性ミュージシャンがパレードの先頭に立ち、沖縄民謡のメロディーにのせてオスプレイ反対の歌を歌う姿はとても印象的で象徴的でした。また、アフリカンドラムの演奏やハワイアンダンスが繰り広げられ、県内外の労働組合や市民団体のグループの旗がなびき、ジュゴンを守れのバナーがゆれ動く光景は、様々な人々がみんな平和な暮らしを求めていることをしっかりと伝えていたと思います。

そして今回のパレードが「国道」58号線で行われたことも非常に重要なことでした。交通量が多く、米軍関係者や観光客の車もよく通る58号線でのパレードは、より沢山人々に基地問題を訴える機会になったと思います。またパレード最終地点の大山ゲート前の公園からは58号線が見下ろせ、参

加者自身が他の参加者のパレードを見て、本当に楽しみながら、連帯を確認できていたと思います。

2013年は、沖縄にとってこれまで以上に重要な年になります。今回のサウンドパレードをどのようにより大きな、そして効果的な市民の動きに展開させていくか。沖縄の基地問題解決をめぐる模索と挑戦は続きます。みんなで頑張っていきましょう！

(沖縄 吉川秀樹)



脱原発世界会議2
ぽかぽか陽気の市民ひろばブース

首都圏

11・23オスプレイ配備撤回！

参加しました★

米兵による凶悪事件糾弾！怒りの神奈川行動低空飛行訓練反対・厚木に来るな

神奈川県海老名市の東柏ヶ原近隣公園にて、沖縄のうまんちゅ大行動に呼応しての集会がありました。一日中曇り空の寒い一日でした。

神奈川県の中核部にある厚木基地は、普天間と同じく人口密集地の真ん中にあり、米軍による事件・事故が多発しているところです。空母艦載機の爆音に加えてオスプレイまでもが厚木にやってくるわけです。主催者挨拶で厚木爆音訴訟原告団長は「日本の主権が問われてる。オスプレイの撤回まで戦っていく」と力強く語りました。首都圏ネットワークの一坪反戦地主会・関東ブロックからは「1月27日、28日の沖縄からの上京団の行動を共に大きく成功させよう」と呼びかけ大きな拍手がありました。その後、各地から反オスプレイの発言が相次ぎ、沖縄からの連帯メッセージが読まれました。集会後、約800名のデモ隊はシュプレヒコールを繰り返しながら行進し、厚木基地正門前では米国軍人に抗議文を読み上げて手渡しました。（首都圏 宮城韶子）



上：「サイカド-NO」と書かれたジュゴンのバルーン。基地も原発もありません。



左：リュックにジュゴンマスコットをつけて行進する参加者

脱原発世界会議2・市民ひろば



12月15日・16日都内で開催された脱原発世界会議2・市民ひろばにブース出店しました。1月に横浜で開催された脱原発世界会議に引き続き参加です。会議では、イタリア、リトアニア、台湾、韓国などで活動している方や、日本各地で活動している方々が脱原発に向けた積極的な議論が行われました。

市民ひろばのブースは、日比谷公園の噴水周辺に設置されました。しかし初日はあいにくの雨模様で寒さに凍えながらの出店でした。2日目の日曜日は、前日とは打って変わってぽかぽか陽気でイベント日和となりました。

土曜日には、日比谷公園周辺でデモ行進が行われました。雨模様の中でしたが、「原発いらない」「大飯を止めろ」「選挙に行こう」などと元気よくアピールしました。

今回は、フェアコープさんとテントをシェアしました。高知県と三重県から取り寄せた無農薬の新鮮野菜を販売していました。初日の悪天候にもかかわらず、二日間でほぼ完売でした。

（首都圏 三村昭彦）



ジュゴン・サポーターの皆さま、新年明けましておめでとうございます。今年はどうな1年になるのでしょうか？笑顔で来年に繋がられるように進んでいきたいですね。

さて、私の今年の抱負！という事ですが・・・毎年同じ事を手帳に書いては翌年へ繰り越されているような気がしますけれど。最近ではジュゴンの認知度も上がったみたいですが、まだまだ認知されていないこれ

→★毎月15日はジュゴンの日★を広めます！

ということで、まずはバナーを作ってみました。イベント時など出会った方々にお名前やイラストを書き込んでもらって、今年の終わりには素敵なバナーを完成させます。

『毎月15日はジュゴンの日』を広めます

今年の抱負



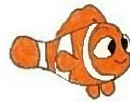
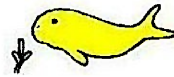
まず、去年はスタッフが減ってしまったこともあり、首都圏の活動が少し減ってしまったので今年は増やしたいなあとと思います。まだ一回しか開催していない料理教室など、お子さんも楽しめるようなイベントを企画して行きたいです。沖縄出身のスタッフが美味しい沖縄料理を伝授してくれますよ。

会員の皆様、イベント開催の際にはぜひ参加してみてください。たまーにでもお手伝いして頂けるスタッフも募

ジュゴンサポーターの皆様のご協力なくして達成できません、どうぞ宜しくお願い致します。

ジュゴンを通して沖縄の素晴らしい自然環境、歴史文化を知ってもらい、清らかな辺野古の海にこれ以上アメリカの軍事基地をつくらせない事に繋がられたら嬉しいです。

(沖縄 小平裕美)



スタッフ・新年の抱負

集中ですので少しでも興味のある方は一度イベントなど遊びに来て下さい。

それから小さな目標ですが、日々忙しく生活しているとつい忘れてしまうのですが、生き物の一員として生きていることを忘れず、辺野古の基地建設や原発問題のように目先の利益ばかり重視するのではなく、人が人らしく暮らせて、人間のために様々な生物が犠牲にならない社会になって行くように、小さくてもアクションを起こして行きたいと思います。

(首都圏 鈴木陽子)

現地から 名・護 ナ・ゴ 地域発の明るい未来 づくりを目指して

名護市地域づくりコーディネーターの深田友樹英と申します。今年度の4月から祖父の故郷である名護市の久志地域に移り住み、わんさか大浦パークという地域の交流拠点を中心に住民主体の地域づくりのサポートを行っています。

私自身は県外出身ですが、修士研究を久志地域で行ったときに日本の明るい未来の鍵は農村にあると感じ、将来はこの地域に戻ってくることを誓っていました。4年の時を経て人のご縁がつながり再び久志地域に戻ることで、多くの方に支えられながら活動をしています。

私の役割は、地域の方の思いの現実化を促す潤滑油のようなものです。志ある方が成功できるように、チャレンジしやすい環境をつくり、成果が出るまで粘り強く一緒に動いていきます。前に出るのではなく地域の方の声をしっかり聞き、思いや言葉、人と人、人と情報などがつながり、ものごとが動き出すよう働きかけしていきます。

これまで地域内外の連携を強めるための「わんさか大浦パーク」で行われたイベントに関わってきましたが、最初は言った言わないでゴタゴタしていた状況が、回を重ねるごとに段取りもスムーズになり連携の輪も広がり、「心のつ



ながりができてきた」という区長さんの声も聞かれ、名護市長からは「この地域は住民の主体性が生まれてきており1年前と大きく変わった！」という言葉をいただきました。

このいい流れを地域の大きな課題である産業や生活の基盤強化につなげていけるよう、6次産業化や観光まちづくりを積極的にサポートしていきます。サポート強化のための地域おこし協力隊3名も募集予定です。

この地にしっかり根を張り、世界から注目される幸福感あふれ自立した地域を実現していきたいと思っています。

(名護市地域づくりコーディネーター 深田友樹英)



若い力の団結を深めた「わんさか やんばる島豚 BBQ祭」。カチャーシーで大盛り上がり！



映画「ひまわり～沖縄は忘れない、あの日の空を～」に涙

12月14日、東京有楽町の朝日ホールで、宮森小学校米軍ジェット機墜落事故（1959.6.30）の大惨事を描いた映画の試写会がありました。上映の前に及川監督、沖縄大学学長で「映画ひまわりを成功させる県民の会」のか藤章彦代表と出演者の長塚京三さん、須賀健太さん、福田沙紀さん、沖縄から子役の7人の子どもたちの舞台挨拶がありました。

「今は基地や原発は避けて通れない状況、戦争と基地が与えた悲しみや苦しみは、今も沖縄の現実として続いている。6・30を忘れないために、ひとりでも多くの人に観て欲しい」と呼びかけられました。

映画は、事実に基づいた内容が再現され、思わず涙が出てきました。会場に当時4年生で体験された方もいました。平和な日常が一瞬で破壊した事故の大惨事に、すすり泣きが漏れていました。現在の問題も十分盛り込まれており、辺野古の海が映り、フェンスのバナーが映り出された時はSDCCのバナーを探しましたが、瞬間だったのではっきり判りませんでした。

ひまわりの花は、踏まれてもまた太陽に向かって再び咲く強さ、逆境を跳ね返して咲くという事で、ラストで、ひまわり畑の中で大学生たちが平和への決意を新たにするシーンで終わりました。

沖縄は、米兵による婦女暴行事件、沖縄国際大学への

ヘリ墜落事故、オスプレイの配備など危険な基地被害は後をたちません。この映画は、実際の事件を元に、今の日本に問いかける映画です。

ロードショーが1月から全国1000箇所です。皆さん、ぜひ観に行ってください。

(首都圏 矢敷克子)



左から須賀さん、長塚さん（左上にアップ）、福田さん



おきなわ便り

～日本一早い 桜の開花～



日本で最初に開花を迎える沖縄のヒカンザクラ

1月下旬から2月中旬が満開になり見ごろとなります。四季を感じにくい沖縄ですが、数少ない春を感じる時期です。桜が開花すると、濃いピンクの紅葉のように感じ、幻想的な優しい気持ちになります。

桜の種類は、緋寒桜（ヒカンサクラ）。色は濃いピンク、花一つ一つが下を向いて咲きます。花が咲き終わると、花全体が粘りついて落ちます。

開花は南から始まりそうですが、北部から順に南部へと咲いていきます。開花にともない桜祭りも開催され、北部の八重岳が1月下旬、南部の那覇桜まつりは2月中旬と約1ヵ月かけて南下していきます。

祭りは桜木の下で宴会ではなく、徒歩や車に乗って花を見ます。

さて、私が毎年楽しみにしている桜を紹介します。モノレール牧志駅近くの公園の桜です。毎年みごとな花が満開に咲き、たくさんの方が記念撮影しています。その光景を見るたびに、ほほえましい気持ちになります。

今年も楽しみです。

(沖縄 仲村)

第13回SDCC総会 (in 大阪) を開催します。



日時:3月31日(日)午後2時～ 場所:ドーンセンター(大阪・地下鉄・京阪天満橋駅下車)

今回、沖縄からの報告として、海勢頭豊代表と吉川秀樹 (SDCC 国際担当、沖縄 BD ネット事務局) から、今後の沖縄の動き、沖縄の環境運動などについてお話しする予定です。参加費無料、SDCC 会員でない方も大歓迎です。知り合いの方にも、声をかけていただき、総会を盛り上げてください。ご参加お待ちしております。

【学習会】 仲井真知事に意見書を送ろう!

「ジュゴンの海を埋め立てから守るために」

日時3月9日(日) 18:30~20:30

場所:中之島中央公会堂 第1会議室

資料代:500円

大阪

※2/20のアセス訴訟判決の報告、補正評価書の問題点を学習し、埋め立てを止める方法を考えましょう。どなたもご参加いただけます。申し込み不要です。皆様のご参加お待ちしております。

※第8回じゅごんの里ツアー (沖縄)

今年は、6月28日(金)~30日(日)に開催予定。辺野古現地を訪れ、地域の方々と交流、素晴らしい自然に触れるスタディツアーです。ぜひ一度ご参加ください。

※第2回ジュゴン保護覚書会議 (フィリピン)

2月19日-20日に、フィリピン・マニラで開催されます。SDCC から、スタッフが1名参加します。報告をお楽しみに! **カンパ**をよろしくお願ひします。

映画「ひまわり ~沖縄は忘れないあの日の空を~」

◇上映予定 (首都圏)

1月26日~ 新宿武蔵野館 10:00、13:00

3月8日 大田区民ホール 10:30、14:30、18:30

◇上映予定 (近畿)

2月8日(金) ドーンセンター 14:00、16:20、18:40

2月9日~15日 梅田ガーデンシネマ 10:00

2月22日(金) 兵庫県民会館 14:00、16:20、18:40

◇上映予定 (沖縄)

2月6~7日 読谷村文化センター 15:00、19:00

2月10、11日 那覇市タイムスホール 11:00、14:00、17:00

3月13、14日 那覇市パレット 13:00、16:00、19:00

上記以外にも全国各地で上映予定です。ぜひ一度ご覧ください。

詳しくは公式HP をご覧ください

<http://www.ggvp.net/himawari/>

※「月桃の花」歌舞団沖縄公演

2013年2月17日(日) 14:00開演

てんぷす那覇 (ゆいレール牧志駅下車徒歩6分)

◆第1部 「月桃の花」歌舞団ミュージカル「フリーダム反基地・反原発 人間として生きる!」

◆第2部 海勢頭 豊 ジュゴンコンサート

高校生以下・フリーター・失業者:500円

学生・65歳以上・障がい者:1,000円

大人:2,000円

※当日料金は各500円増

※沖縄大問題シンポ STOP! 高江・辺野古・泡瀬・大嶺

~米軍基地、公共事業から沖縄の自然と暮らしを守る~

日時:2月23日(土) 13:00~17:00 (12:30開場)

場所:台東区民会館(特別会議室) 浅草駅下車

参加費 1000円

主催団体:沖縄・生物多様性市民ネットワークほか

*SDCC から、IUCN チェジュ会議の報告をします

新署名はじまりました★

安倍首相に、ジュゴンの棲む辺野古の海の埋め立て断念を求める、新署名がはじまりました。御協力、よろしくお願いいたします。



求むジュゴンサポーター (ニュース購読会員)

SDCC 会員、ボランティアスタッフを募集しています。会員の皆様も、まわりの方へ、お声かけお願いいたします。

Editor's Note

今号では、名護現地からのレポートをお届けしましたが、いかがでしたか?名護市の推進する6次産業化って、雇用と所得を確保し、みんなが定住できる地域をつくるため、1次、2次、3次産業を融合させたものなんですね。1と2と3は足しても掛けても6になります。豊かなまちづくりの取り組みを、今年も応援していきます。(山根)

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.66 2013年1月29日発行
 ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
 第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
 ○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
 (関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
 TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084